

第 34 回 昆虫学格致セミナー

日時：2018 年 9 月 25 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分

場所：京都大学農学部 1 階 E-103 号室

タイトル：周りの植物が防御効果を変える：アブラナ科植物における多型の維持から虫害制御へ

講演者：佐藤安弘（JST さきがけ・龍谷大学）

野外の植物集団では、植食者に対する防御形質に遺伝的変異がみられる。このような状況では、複数の遺伝子型が混在していることによって、特定の遺伝子型が虫害を逃れられたり、集団全体として虫害が抑制されたりすることがある。本セミナー前半では、ダイコンサルハムシ (*Phaedon brassicae*) を介したハクサンハタザオ (*Arabidopsis halleri* subsp. *gemmifera*) の有毛・無毛型の共存について話す。後半では、シロイヌナズナ (*A. thaliana*) 野生系統のゲノム情報を利用して混植すべき系統を事前に予測し、虫害を抑制する試みについて紹介する。一連の研究に基づき、植物における多型の維持機構から遺伝的多様性がもたらす生態系機能まで幅広く議論したい。